



同窓会報

NO.8

平成23年
9月12日発行

岩手県立一関第二高等学校同窓会

〒021-0041 岩手県一関市赤荻字野中23番地1 一関二高同窓会事務局 印刷所 コンカツ印刷(有)
TEL. 0191-25-2242 (職員室) FAX. 0191-25-5432 URL. <http://sekinidosokai.com/>

東日本大震災により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

この度の東北地方太平洋沖地震および各地を震源とする地震により被災されたみなさまに、心からお見舞い申し上げます。



世界遺産登録委員会報告

平泉町長 菅 原 正 義

(昭和49年二高土木科卒)

パリのユネスコ本部、議長が“Decision (決定)”との宣言と同時にハンマーを打ち下ろすや会議場に万雷の拍手が鳴り響きました。6月25日午後5時50分(パリ現地時間)、「平泉」の世界遺産登録が決定した瞬間です。この感激を早く地元へ伝えたい。その場に立ち会った私の胸には言葉に言い尽くせぬ程の思いがこみ上げていました。

平成13年、「平泉の文化遺産」が世界遺産暫定リストに登録されて以来、当町は登録推進をまちづくりの根幹にすえて取り組んできました。平泉の遺産は、国宝建造物である中尊寺金色堂のほかは浄土庭園などの遺跡が中心であり、景観の保全が重要課題となりました。世界遺産にふさわしいまちづくりを進めていくため独自の条例を設け、まちぐるみで環境整備に取り組んできました。

ところが、平成20年7月の世界遺産委員会ではまさかの落選、日本初の「登録延期」となったのです。登録を疑わなかっただけに、地元へ与えたショックは計り知れないものでありました。

登録延期の決定を受け、日本政府は即座に平泉を再推薦する旨表明し、「再チャレンジ」の取り組みが始まりました。国・県はじめ関係者のもとで、推薦コンセプトを練り直し、確実な登録をめざして構成資産が絞り込まれました。さらに、景観に対しては国の景観法に準拠したさらに厳しい条例や独自の屋外広告物条例を制定するなど、住民の理解を得ながら取り組んできました。

町長就任直後の昨年9月に行われた専門機関「イコモス」の現地調査で調査員から謝意が述べられた時、微かにですが「登録」の手応えを感じました。年が明けて今年の3月4日、前ユネスコ事務局長松浦晃一郎氏との懇談で、「今度はいける」そんな明るいきざしを読み取った矢先のことです。一週間後の3月11日、想像だにできなかった未曾有の災害が私たちに襲いました。今なお続く沿岸被災地救援の日々が



世界遺産委員会開会式風景

はじまりました。平泉に住んで経験したことのない観光客のいない静かなゴールデンウィーク、しかしその二日後の7日未明、イコモスの平泉登録勧告は、待ちに待った朗報であり、また復興の励みになる明るい話題でした。

平泉文化の真髄は、その前半生に想像を絶する悲惨な戦乱をくぐり抜けた藤原清衡の切実な願い、すなわち平和・平等そして鎮魂に対する祈りのところにあります。その尊いところざしを引き継ぎ伝えていくことこそ、世界・人類に貢献する真の使命と思うのです。平泉が復興を目指す岩手そして東北を照らす一条の光となることは、その第一歩であると思います。

世界遺産委員会の審議では、ある委員国の提案で決議文に一文が加えられました。「日本が、イコモス及び世界遺産委員会の勧告に厳密に従い、わずか三年で素晴らしい改定を行ったことを賞賛する。」これまでくじけず、あきらめず取り組んだ再チャレンジへの何よりの賛辞でした。

そして、平泉審議を締めくくり、議長から祝福と励ましのコメントが述べられました。「世界遺産委員会のメンバーを代表し、日本の、とりわけ(震災の)被害に遭われた地域の皆さんに対して弔意を表したい。我々は皆さんのそばに立っている。平泉の世界遺産登録が、復興に向けた勇気を皆さんに与えることを願っている。そして近い将来、この素晴らしい遺産を訪問したい。」そして、「思いは一緒」というように会議場に再び拍手が響き渡ったのです。



ごあいさつ

同窓会長 佐藤 正

会員の皆様には益々ご清栄のことと拝察申し上げご同慶に存じます。

今年3月11日に発生した「東日本大震災」では岩手・宮城・福島と大変な被害にあいました。加えて東京電力福島原発に対しての二次的災害を引き起こし、沿岸地域では多くの死者・行方不明者、家屋・建造物は壊滅的被害となり、福島では放射能の影響が大きく多くの避難民を抱えています。本校では校舎の一部・大講義室と、旧農業高校の玄関前の記念築山などが被害を受けております。同窓生の中にも多くの人々が被害に遭われたものと推察され心からお見舞いを申し上げます。災害発生から五ヶ月を過ぎても尚復旧復興の見通しがついていない現状で被害者はお盆を迎えねばなりません。一日も早い復興に向けて、確かな計画と復興指針を示してほしいものです。

関係当局の取り組みとご努力に期待するところ大であります。

母校の後輩たちは、総合学科高校として八年目を迎え勉学にスポーツに文武両道に亘って大いに活躍、進学・就職に実績をつくり、各種スポーツ大会ほか技能発表会等においても素晴らしい実績を残しております。今後とも会員皆様のご支援ご声援をお願いいたします。

同窓会としては、例年6月に総会を開くことになっておりましたが、いろいろ検討の結果一ヶ月遅らせての開催いたしました。

現下の社会情勢がめまぐるしく変化し、その厳しさについて今更申し上げるまでもありませんが、同窓会独自での事務局員配置などいろいろありますが当面千葉副会長に事務局長として対応をお願いしているところです。人件費の確保、財源の捻出方法など多くの課題がありますが会員皆様のご意見を生かし、関係当局のご指導を戴きながら組織の維持運営に努めてまいりますので、何卒よろしくご支援の程お願い申し上げます。尚、同窓会情報については、インターネットのよるホームページをご活用方お願い申し上げます。



意志の力

校長 暎山 正 明

この度の東日本大震災でお亡りになられた同窓生の方々へ衷心より哀悼の意を表しますとともに、被災なされた方々に心よりお見舞い申し上げます。一刻も早い復旧・復興がなされますよう祈念申し上げます。

同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動に対しまして、篤いご支援とご理解を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、本校は今年で105年目を迎え、総合学科として再スタートしてから8年目となります。ここ数年で総合学科の系列を、人文系列、自然系列、環境・ビジネス系列、福祉系列の4つに整理し、生徒の進路をできるだけ保証出来るように整備して参りました。特にも上位学校への進学を重点にする、「進学型総合学科」を目指して、職員生徒一丸となって奮闘中であります。今年度は、本校の校訓である「自主の心」「意志の力」「創造の意欲」を基本として、本校の校門に乗っている「球」のように、人格の完成を支援しようと学校経営計画を立てております。その実現に向けて、「チャレンジ」することにより自らの殻を破って更なる成長を期すことをテーマとしております。昨年の進学就職の実績も良好に推移し、部活動も充実した成果であり、文武両道に成果が現れていると思っております。

さらに、今年度の北東北インターハイにて、本校フェンシング部の活躍を報告できますことは、うれしい限りでございます。「2011熱戦再来北東北総体」は、一関市でも体操競技会場となり、本校も体操競技女子の練習会場となった他、開会式での太鼓道場部のアトラクションやブランターのお花の準備、各会場等での補助員・案内係等多

くの生徒・職員がお手伝いをいたしました。その中、フェンシング競技は、7月30日から青森県むつ市で開催されました。本校からは女子学校対抗と個人対抗6名が出場しました。学校対抗は残念ながら1回戦で敗退いたしました。個人対抗に出場した本校生徒は、全員が予選プールを通過しました。これは珍しいと聞きます。フルーレの男女は予選リーグ1回戦で敗退しましたので全国ベスト64です。エペとサーブルは予選プールを抜けると全国ベスト32です。そこから1勝する毎に順位が上がります。男子は、ベスト32とベスト16を勝ち取りました。女子の2名はベスト8以上確定で、名誉となる会場での決勝トーナメント選手紹介があり、華麗な挨拶を披露しました。佐藤葵さんはサーブルで7位、千葉春菜さんは何と決勝戦まで上り詰めました。全国2位、準優勝には、もう感動いたしました。チーム全員でハイタッチして喜びました。

個人対抗準優勝は8年前に、やはり本校生が成し遂げて以来とのこと、本県フェンシング競技の過去最高タイ記録となるようです。それぞれの選手は淡々と、闘志を胸に抱き、果敢に攻めて勝利を勝ち取っていきました。応援していても頼もしい限りです。その勝利には「意志の力」を強く感じさせるものがありました。それまでの努力、苦勞、忍耐が結晶となった瞬間です。また、今まで育ていただいた多くの方々、両親・家族等お世話になったの方々、応援をしてくださった方々への感謝の気持ちのこもった恩返しとなりました。

この結果は、本校生のまだ見ぬ可能性の一端を見せてくれたものと思っています。二高生の部活動や学業における活躍の無限の可能性を示唆しております。本校の校訓である「意志の力」をもって、無限の可能性を引き出し、二高の明るい未来を切り開いていきたいと思っています。

同窓生の皆様から、これからも変わらぬご理解とご支援を賜りますとともに、同窓会の更なるご発展を祈念申し上げます。

平成23年度総会・懇親会

平成23年度の総会及び懇親会は、東日本大震災のため、例年より1ヵ月遅れて7月30日（土）、ホテルサンルート一関を会場に開催されました。

総会開催に先立ち、震災被害者並びに会員の物故者に黙祷が捧げられました。会議は今年の当番幹事の中から鈴木秀さん（昭和49年3月二高普通科卒）と茂庭文仁さん（昭和59年3月二高普通科卒）のお二人が議長を務め、進行していただきました。議案は概ね事務局提案の通り承認をいただきましたが、同窓会寄付受付口座の取扱い、同窓会ホームページの有効活用、役員のうち理事と委員の役割について今後検討することとなりました。また、昨年度県教委から要請のあった事務局の学校からの独立を受け、副会長4名のうち1名が事務局長の任に当たることが了承され、規則改正もなされました。

懇親会は昭和59年3月卒の恩師、主演勉先生

と佐藤基先生、来年度当番幹事の緑川博文さんと二階堂剛さん（昭和60年3月二高普通科卒）を迎え約60名と総会とほぼ同数の方々に参加していただき、昭和49、59年3月卒の当番幹事の司会により和やかに行われました。余興では、昭和49年3月卒の一方井さんによる日本舞踊、昭和49年3月卒の皆さんによる歌、昭和59年3月卒の皆さんによる歌や踊り等で会をさらに盛り上げていただきました。その後の同期会もそれ以上の盛り上がりだったことと思います。今回は、開催が1ヶ月遅れ打合せ等が思うようにできない中で開催でしたが、当番幹事の皆さんの活躍により盛会に終わることができました。

来年の総会・懇親会の当番幹事は昭和50年、60年3月卒業の皆様です。当番幹事の引継会は来年3月を予定しておりますので、学年理事と今年度の総会・懇親会参加者に案内を致しますのでよろしくお願いします。

平成23年度 一関二高同窓会年間行事計画

平成23年

4月11日(月)	同窓会会計監査(本校)
14日(木)	入学式 同窓会常任理事会(本校)
5月10日(火)	同窓会総会・懇親会当番幹事引継ぎ会 (ホテルサンルート一関)
15日(日)	開校記念日
20日(金)	同窓会総会・懇親会当番幹事第1回打ち合わせ会(本校)
6月 8日(水)	同窓会理事会(本校)
11日(土)	同窓会総会・懇親会当番幹事第2回打ち合わせ会 (山目公民館)
未 定	同窓会総会・懇親会当番幹事第3回打ち合わせ会(未定)
7月30日(土)	同窓会総会・懇親会 (ホテルサンルート一関)

当番幹事 昭和49・59年3月卒

未 定	同窓会報発行
8月27日(土)～ 28日(日)	二高祭
9月17日(土)	同窓会関東支部総会・懇親会 (サンケイプラザ)
10月 2日(日)	同窓会盛岡支部総会・懇親会 (花巻 ホテル花城)
10月21日(金)	同窓会仙台支部総会・懇親会 (仙台ガーデンパレス)

平成24年

未 定	同窓会常任理事会(未定)
2月29日(水)	同窓会表彰・入会式
3月 1日(木)	卒業式

同窓会総会・懇親会の様子



議長選出



『古いアルバムめぐり〜』♪



恩師との記念撮影



S49年卒の日本舞踊の舞



S59年卒による余興「キャンディーズ他」仮装



S49年卒による「あの素晴らしい愛をもう一度」



佐藤基先生の指揮により全員で校歌斉唱

3. 11の大震災、7月に福島・新潟を襲った大豪雨、スペースシャトルの終焉、なでしこジャパンのWカップ優勝!…。今年は大変換の年と言うことで、今年度から同窓会も同窓生が事務局長となり、庶務・会計等に目を光らせ、議案の質疑に対する答弁の任にあたりました。初年度でもあり、答弁に窮する場面もありましたが、建設的発言が多く、なんとか後段の催しに食い込まない程度に終了。役員会でもう少し準備をしておけばと自戒すること頻りです。

49年同期会

同 級 会

昭和49年3月卒 蜂 谷 美知子
(旧姓古内)

震災の悲しみもさめやらぬ中、例年よりも1か月遅れではありましたが、無事定期総会が開催されました。

昭和49年、59年卒業の当番幹事による懇親会は、49年卒の旧姓宇佐美さんの日本舞踊「松」、59年卒有志によるキャンディーズメドレー、49年有志によるフォークソング「戦争を知らない子供達」他2曲とそれぞれの持ち味を生かした思い出深いものとなりました。

49年卒の2次会は、いつくし園での泊まりがけの同期会。最初に震災で亡くなった千葉恵美さんに黙祷をささげ、恩師只野弘三先生のご挨拶とすすめられていくうちに、私達は昭和49年当時にタイムトラベルしていきました。55歳と56歳の少年少女の集まりです。当時の思い出話に花が咲き、盛り上がりました。

次の日は、サハラパークでショッピング、ティータイム。

「60歳に赤いチャンチャンコで再会しましょう」で解散となりました。

震災の大変な中、この一日のために何度も打ち合わせに臨んだ有志の皆様は心より感謝申し上げます。

私事ではありますが、今回の震災で気仙沼の義姉を亡くしたり、お母さんと子供さんを亡くした友人がいたり、家を流された友人達も沢山いて、正直総会に出席することに戸惑いがありました。でも、会に出席し、こんなに沢山の仲間がいて、強い絆で繋がれていたのだと喜びでいっぱいになりました。

本当にお疲れさまでした。



一関二高同級会 明鳴吉喜会 於 蔵美溪温泉いつくし園 平成23年7月30日

59年同期会

『感謝』 そして明日へ向って共に進もう…

昭和59年3月卒 小 岩 智 子

同窓会総会に向けて準備をしてくださった皆様、本当にお世話様でした。昨年から準備を進めていたにもかかわらず、3月11日の震災のために白紙に戻して全てを協議し直したと聞きました。今年は中止になるのでは、と予想していた方も多かったと思います。開催に向けての御尽力に感謝いたします。

総会の際には白熱した議論が起きる場面もありましたが、それもまた母校に対する熱い思いがあればこそかと感じました。

総会後の懇親会は、先程までの真剣なモードはどこへやら、と一転。私達の恩師である佐藤基先生、主演勉先生のお2人をお迎えし、更にスペシャルゲストのキャンディーズ(!!)も加わるという超豪華版。途中音声が聞こえなくなるハプニングも、先輩方をはじめ、会場にいた皆さんが一緒になって歌ってくださり、正に夢のようなひとときでした。せっかくのお料理を目の前にしながら、食べる間も惜しんで懐かしい話に皆さん夢中だったようです。

卒業してほぼ四半世紀(!?)を過ぎてからの初めての同窓会。でも会えばすぐ昔に戻り、お互い懐かしい話に花が咲いて… とはいかず、密かに「…あの人、誰?」とのセリフも水面下で繰り返されていったのでは? 同じ組やクラブにならなければわからない方もいるかと思います。むしろ在学中の三年間よりあの日の数時間で親しく言葉を交わした方のように思います。大切な思い出を育んでくれた高校時代に、そして楽しいひとときを過ごせた同窓会に、それぞれ感謝いたします。

最後に、私達の学年の同窓会員として責任を担い、皆への呼び掛けや名簿作成など地道な準備をしてくれていたのが斉藤修一さんです。準備の途中から参加できなくなり、当日も残念ながら参加できませんでした。途中から引継いで当日も大活躍だったのが佐々木(旧姓岩渕)利恵子さん。このお2人の存在なしに同窓会の成功はありえません。この場を借りてお礼を言います。本当にありがとう。



平成22年度盛岡支部総会・懇親会

大 野 秀

(昭和34年3月土木卒)

今年度は、昨年と一日違いの10月2日(土)ホテルニューカーナで行われました。

参加者をいかに増やすかが支部の最大の課題ですが、昨年より4名増え32名となり、右肩下がりの世の中であって、一筋の光明を見た感じでした。参加できなかったものの、207名の方がコメントを付けたりして返信をくださったことは、今後へ期待を残すものでした。

例年通り、校長先生・本部長さんはじめ多数一関から参加いただき、在校生の活躍ぶり等を詳しく説明してもらい、一同心強くしたところです。

総会議案の事業計画の中には「生徒等が参加する各種大会等の応援を行う」ことが盛り込まれており、県都盛岡では様々な催しがあるので、今後もかけつけて応援しようと確認しあいました。また、来年一月に平泉の世界文化遺産登録を応援する、一関市民によるミュージカル「平泉」の盛岡公演があり、これも応援しようとなりました。

た。

さて、懇親会となり、メインアトラクションとして、津軽三味線の合奏が登場しました。32年卒の大坊(旧姓三浦)妙子さんが事務局長として率い、ご自身も演奏する「幸山会」のメンバー4名による、心に響き、しみわたる凛とした演奏でした。

私事ですが、大坊さんには私と同級生の弟が居り、親の転勤で、私ら高校入学前の春休みには二人で暮らしていました。もう一人の悪友と何度も泊まりに行き、ご飯をごちそうになった、そのお姉さんと54年ぶりの対面でした。

このあと、会員の踊りあり、合唱ありで時間は過ぎて行きました。

校歌斉唱のあと、なんと平成21年3月卒の二高応援団長の高橋宏幸君の「フレーフレー関二」のエールで締めてもらい、参加者一同平均30歳くらい若返った気分です。再会を約束して散会となりました。



第11回 (平成22年度) 同窓会関東支部総会&懇親会 開催!

支部事務局長 曾 部 篤 治

(昭和44年3月普通卒)

平成22年度関東支部の総会&懇親会が9月25日(土)午後より大手町サンケイプラザ3階ホールにて開催されました。

今回は例年より出席者が多く総勢92名、本部からは佐藤会長、鈴木副会長、槻山副会長そして学校からは酒井校長をはじめ事務局長、先生方の出席を賜りました。恩師の高橋光邦先生(70歳:昭和37年4月より昭和44年3月在籍)にも盛岡より御出席頂き、春の叙勲“瑞宝小綬章”受賞をお祝いしました。

会では、佐藤会長より同窓会の状況等お話があり、酒井校長よりは学校全般の状況、特に進学や就職の現状報告がございました。この3月卒業の同窓生10名も出席があり平均年齢が下がった事に我々事務局方も喜んでおります。今後とも若きメンバーの出席を期待致します。

懇親会では、飲食とも盛りだくさんで出席者満足の乾杯でした。特に前回より抽選会ビンゴゲームを楽しんで頂き南部鉄器や一関ふるさと米等多数賞品を用意し、お持ち帰りに盛り上がりました。限られた時間の中の懇親会でしたが、同じ中学校の先輩後輩と分かり会話が弾み、全体が和やかな雰囲気の中に恒例の須川節音頭の輪踊りが始まりクライマックスを迎える。そして、校歌を高らかに斉唱し盛況のうちに散会となりました。総会の議案の中で、次回(平成23年度)も開催する事に承認されましたので多くの方々の御出席をお待ちしております。



平成22年度同窓会仙台支部総会・懇親会

平成22年度仙台支部総会が11月5日
仙台ガーデンパレスにて総勢53名の出席
で開催されました。

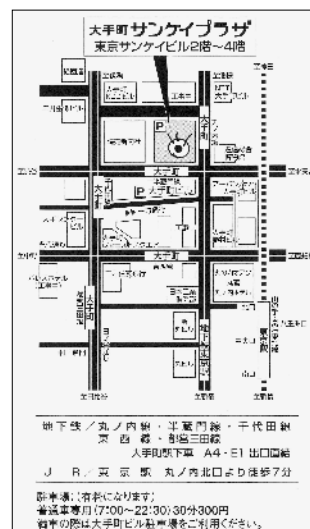
今年度は卒業したばかりの、新入会同窓
生も多数参加していただき明るい雰囲気
で懇親会も盛り上がりました。



一関二高同窓会支部総会・懇親会開催案内

関東支部

- ◎日時：平成23年9月17日(土)
13:00～(受付12:30～)
- ◎会場：大手町サンケイプラザ3階
(東京サンケイビル内)
千代田区大手町1-7-2
TEL 03-3273-2258
- ◎会費：5,000円(当日会場にて承ります)
※平成22年・23年3月卒の方は会費無料です。
- ◎メ切：8月31日(水)まで
- ◎お問い合せ・その他
042-923-5496 (TEL/FAX)
関東支部事務局長：曾 部 篤 治 (S44普卒)



盛岡支部

- ◎日時：平成23年10月2日(日)
15:00～18:00(受付14:30～)
- ◎会場：ホテル花城
花巻市東町9-30
TEL 0198-22-2333
- ◎会費：5,000円(当日会場にて承ります)
※平成22・23年3月卒の方は会費無料です。
- ◎メ切：9月16日(金)まで
- ◎お問い合せ・その他
TEL 0191-635-1592
盛岡支部事務局長：阿 部 俊 雄 (S42普卒)



仙台支部

- ◎日時：平成23年10月21日(金)
18:30～(受付18:00～)
- ◎会場：仙台ガーデンパレス
(仙台市宮城野区榴ヶ岡) 仙台駅東口
TEL 022-229-7177
- ◎会費：6,000円(当日会場にて承ります)
※平成22・23年3月卒の方は会費無料です。
- ◎メ切：10月7日(金)まで
- ◎お問い合せ・その他
仙台支部長 菅 原 虎 男 (022-352-0236)
事務局長 伊 藤 善 雄 (022-358-7628)



各地区同窓会事務局でも、若い同窓生の参加をお待ちしています。

卒業生の進路

平成22年度 卒業生進路別合格者数(延べ人数)

進 学	国公立大学	私立大学	国公立短期大学
	19	100	9
就 職	私立短期大学	看護・医療系専門学校	専門学校
	21	39	58
就 職	公務員	一般企業	福祉関係
	4	19	10

《進学》(入学した大学・専門学校等)

〔国公立大学〕

室蘭工業大学(1)、弘前大学(1)、岩手大学(2)、札幌市立大学(1)、釧路公立大学(2)、青森県立保健大学(2)、青森公立大学(1)、岩手県立大学(5)、宮城大学(1)、高崎経済大学(1)、都留文科大学(1)、名桜大学(1)

〔私立大学〕

北海道工業大学(2)、酪農学園大学(1)、東北女子大学(1)、弘前学院大学(2)、岩手医科大学(2)、盛岡大学(2)、石巻専修大学(1)、仙台大学(2)、東北学院大学(10)、東北工業大学(4)、東北福祉大学(7)、宮城学院女子大学(4)、東北文化学園大学(7)、尚絅学院大学(1)、東北公益文科大学(1)、茨城キリスト大学(1)、つくば国際大学(1)、駿河台大学(1)、城西国際大学(1)、中央学院大学(1)、帝京平成大学(1)、桜美林大学(2)、創価大学(1)、拓殖大学(1)、東京家政学院大学(1)、和光大学(2)、関東学院大学(1)、新潟医療福祉大学(1)

〔国公立短期大学〕

岩手県立大学盛岡短期大学部(1)、岩手県立大学宮古短期大学部(3)、山形県立米沢女子短期大学(2)、会津大学短期大学部(1)

〔私立短期大学〕

東北女子短期大学(1)、修紅短期大学(6)、盛岡大学短期大学部(1)、聖和学園短期大学(2)、仙台青葉学院短期大学(1)、宮城誠真短期大学(1)、福島学院大学短期大学部(4)、埼玉女子短期大学(1)、実践女子短期大学(1)、山野美容芸術短期大学(1)、昭和音楽大学短期大学部(1)

〔看護・医療系専門学校〕

岩手県立一関高等看護学院(5)、花巻高等看護専門学校(2)、水沢学苑看護専門学校(3)、気仙沼市立病院附属看護専門学校(1)、仙台医療センター附属仙台看護助産学校(1)、東北労災看護専門学校(1)、千葉医療センター附属千葉看護専門学校(1)、積善会看護専門学校(1)、神奈川県立衛生看護専門学校(1)、一関准看護高等専修学校(2)、岩手医科大学歯科衛生専門学校(1)、国際医療福祉専門学校(1)、仙台医健専門学校(1)、仙台医療技術専門学校(1)、東北文化学園専門学校(1)、水戸メディカルカレッジ(1)、昭和医療技術専門学校(1)、臨床福祉専門学校(2)、新潟医療技術専門学校(1)

〔専門学校〕

岩手県立産業技術短期大学校(1)、岩手県立農業大学校(2)、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ(6)、北日本医療福祉専門学校(2)、菜園調理師専門学校(1)、上野法律ビジネス専門学校(3)、盛岡ヘアメイク専門学校(1)、盛岡ペットワールド専門学校(1)、北上コンピューターアカデミー(3)、専修大学北上福祉教育専門学校(1)、東北ヘアモード学院(5)、仙台コミュニケーションアート専門学校(2)、仙台デザイン専門学校(2)、仙台リゾート&スポーツ専門学校(2)、仙台ビューティーアート専門学校(1)、仙台医健専門学校(1)、仙台医療事務専門学校(1)、仙台医療秘書福祉専門学校(1)、仙台医療福祉専門学校(2)、仙台理容美容専門学校(4)、仙台大原簿記公務員専門学校(1)、東京IT会計専門学校仙台校(1)、東北法律専門学校仙台校(1)、日本デザイナー芸術学院仙台校(1)、東北電子専門学校(2)、東北保健医療専門学校(1)、ドレメファッション芸術専門学校(1)、国際フード専門学校(1)、日本写真芸術専門学校写真科(1)、東放学園専門学校(1)、東京アナウンス学院(1)、奈良保育学院(1)、日本ナレーション演技研究所(1)、ヒューマンアカデミー仙台校(1)

《就職》

〔公務員〕

岩手県職員III種(1)、宮城県職員(1)、一般曹候補生(1)、二等陸海空士(1)

〔管内〕

〔一般企業〕

(株)シグマ製作所花泉工場(1)、(株)長島製作所(1)、(株)ウェーブロックインテリア(1)、(有)松勘商店(1)、一関地方森林組合(1)、農事組合法人美の郷(1)、(株)ラップワールド(1)、(株)日ピス(1)、一関信用金庫(1)

〔福祉関係〕

特別養護老人ホーム福光園(1)、特別養護老人ホーム関生園(2)

〔県内〕

〔一般企業〕

(株)薬王堂(1)、(有)ゼン(1)、塩野義製薬(株)(1)

〔福祉関係〕

特別養護老人ホーム福寿荘(1)、特別養護老人ホーム花巻あすかの里(1)

〔県外〕

〔一般企業〕

(株)アミノ(1)、(株)ビックカメラ(1)、(株)JOMOネット(1)、敷島製パン(株)(1)、(株)ハヤシフルーツ(1)、郵便事業(株)東北支社(1)、大江戸温泉物語(1)

〔福祉関係〕

社会福祉法人真善会(1)、特別養護老人ホームきく(1)、介護老人保健施設ジェロントピア菊華(2)、医療法人啓和会野末整形外科(1)

平成24年度の総会・懇親会のご案内(予定)

〈総 会〉日 時 平成24年6月30日(土)(予定)

午後1時30分～

場 所 ホテルサンルート一関

〈懇親会〉時 間 午後3時～

懇親会 担当幹事 S50年卒 S60年卒

ホームページのご案内

昨年度の10月よりホームページが開設されました。

今後さらに、情報を充実させて参りますので、卒業生の皆様から旬な情報をお待ちしています。

WEBアドレス

<http://sekinidosokai.com/>

同窓会の寄付について

現在、同窓会事業の収入源は、在校生の会費と入会金で成り立っており、大変財政的に厳しい状況にあります。

そこで、同窓会への寄付口座を開設しておりますので、皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

寄付口座は、郵便振替(手数料加入者負担)となっておりますのでよろしくお願いいたします。

加入者名及び口座番号は以下のとおりです。

○加入者名：一関二高同窓会

○口座番号：02220-8-56591

編集後記

産みの苦しみを味わいました。

今回初めて同窓会役員が中心となり、会報を編集することになったのです。これまでは、同窓会事務局を担っていました先生方によって、同窓会総会や各支部総会の様子、在校生の活躍の姿など分かり易く紹介をしていただいております。

編集を同窓会役員が担うことになり、これまでの方針を少し変更しております。同窓会の記事を中心としつつ、総会の詳細や在校生の活躍ぶりについては思い切ってホームページに委ねるものです。今後は、同窓生の活躍ぶりも取り上げることにより、一関第二高等学校の矜持と在校生の指針の一助になればと思います。

初めての編集で至らない点が多々あると思います。皆様からのご指導、ご教示をお願いいたします。(公)

お詫び

今回の同窓会報は、東日本大震災の影響で総会が1カ月遅れで開催されたこともあり、1カ月遅れの発行となりました。発行が遅れたため、支部総会の案内が間に合わなかった支部もあり大変ご迷惑をおかけしました。

編集委員

編集委員長	佐藤	公基
副編集委員長	須藤	光子
編集委員	木村	東和夫
//	菅原	隆
//	千田	一成
//	槻山	隆幸